

台湾自動車部品、オートバイ および関連部品産業の概況

中華民国對外貿易發展協會
展覽業務処 蔡明燿



概要

- 台湾自動車部品産業の現状
- 台湾オートバイ部品産業の現状

台湾自動車部品産業の現状

産業規模

- ・ 約2,500社の部品製造業者。うち410社は二次請け、三次請けとして部品を自動車メーカーに供給
- ・ アフターサービス用途の部品生産が大多数。例えばカーライト、バンパー、バックミラー、車両及び部品、自動車用プラスチック部品、板金など衝突事故に伴う修理部品のサプライヤー。
- ・ 約200社が中国大陸に工場を持つ

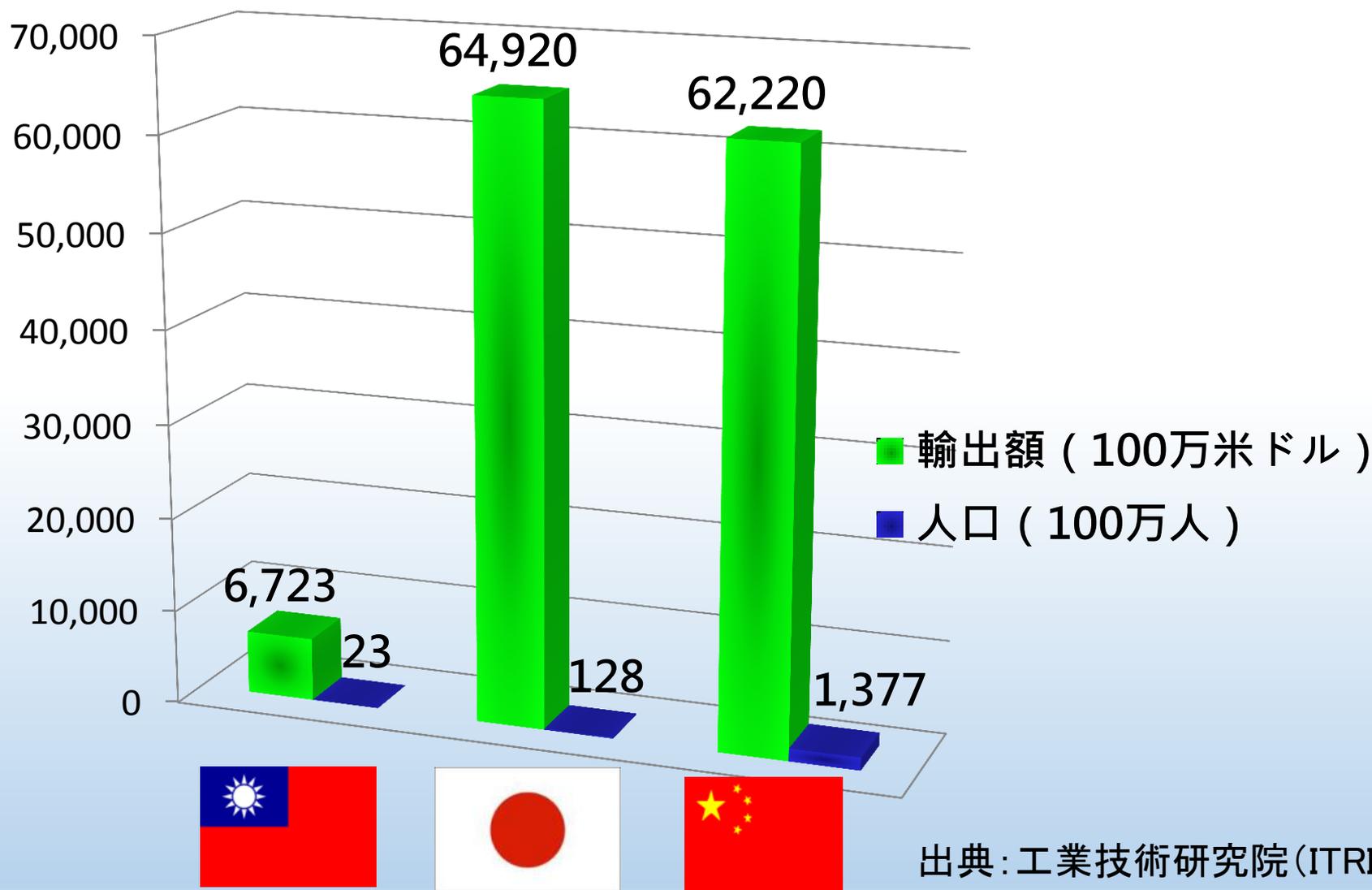
安定した成長

- ・ 2015年の生産高は73億4,200万米ドルで、成長率は0.26%
- ・ 2015年の輸出額は67億2,300万米ドルで、成長率は3.26%
- ・ 生産高に占める輸出高の比重は92%に達する

特色

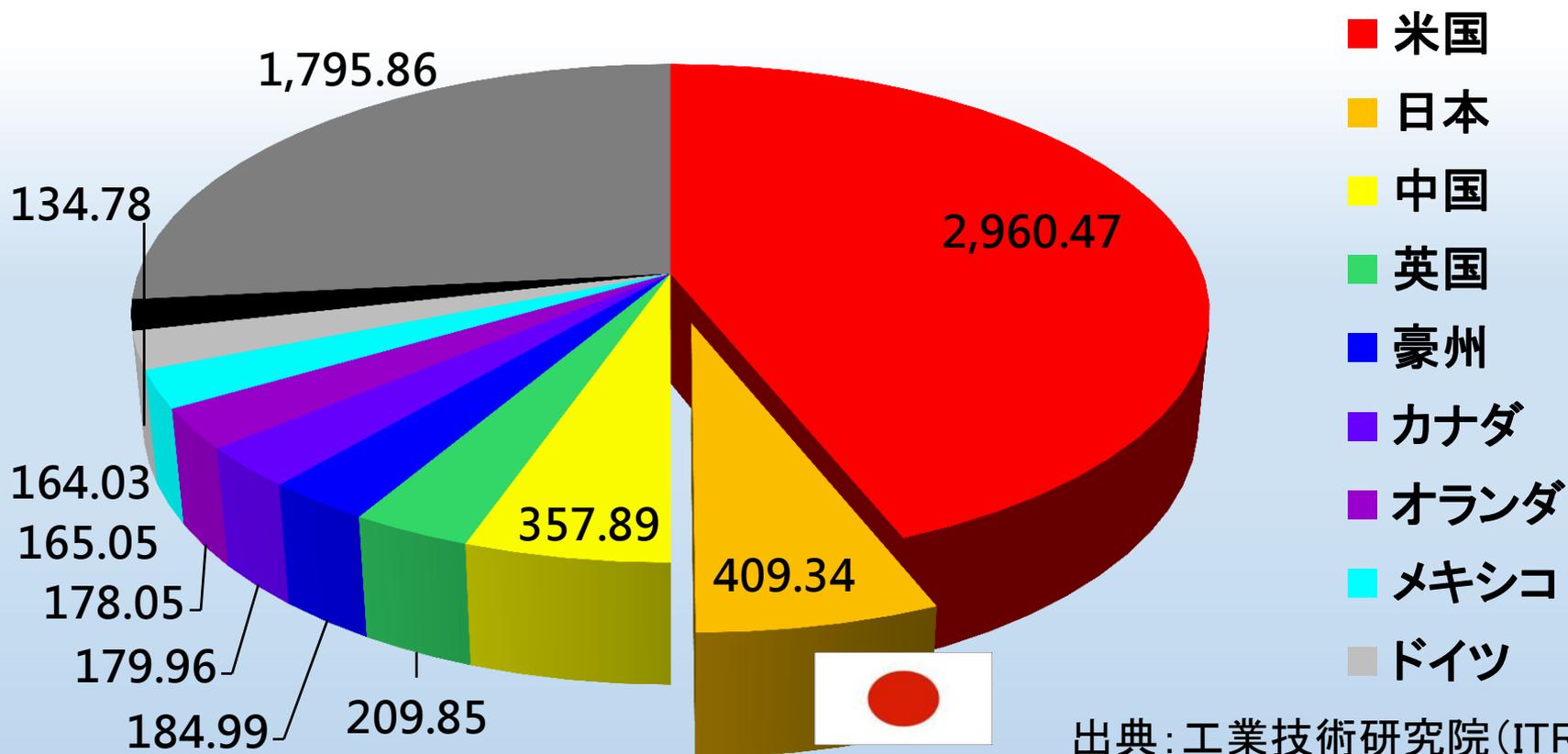
- ・ 中小企業が大多数を占める。大きな工場を取り巻くサテライト工場による緊密なネットワークにより、小ロットで多種多様、顧客のニーズに合わせた柔軟なカスタマイズサービスの提供が可能に
- ・ ICT産業の完全なサプライチェーンが、台湾のカーエレクトロニクス産業の発展を後押ししている

2015年の自動車部品輸出額



2015年台湾自動車部品の輸出先

輸出総額67億2,300万米ドル



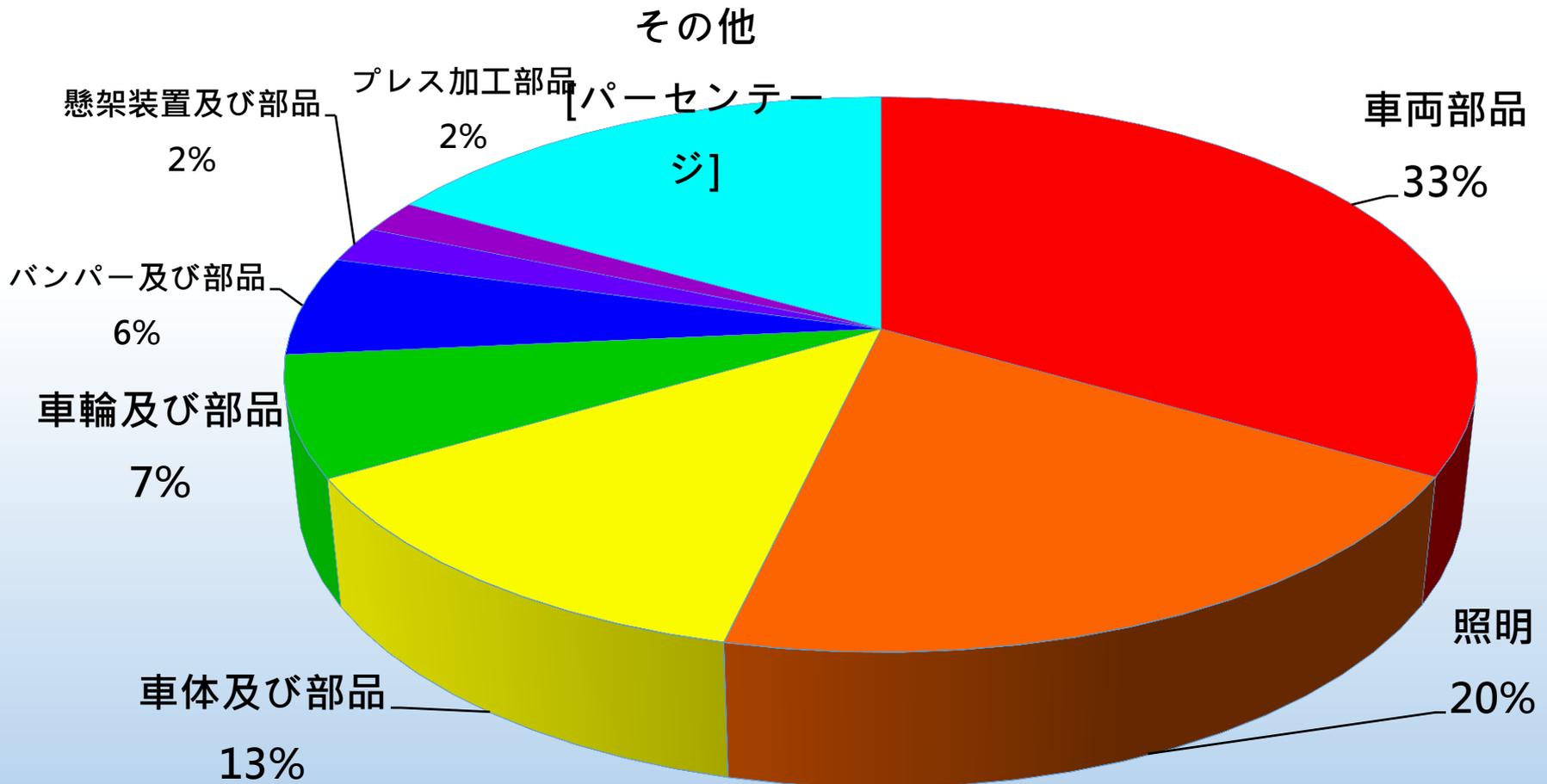
単位: 100万米ドル

出典: 工業技術研究院 (ITRI)

2015年台湾自動車部品の輸出品目と比率

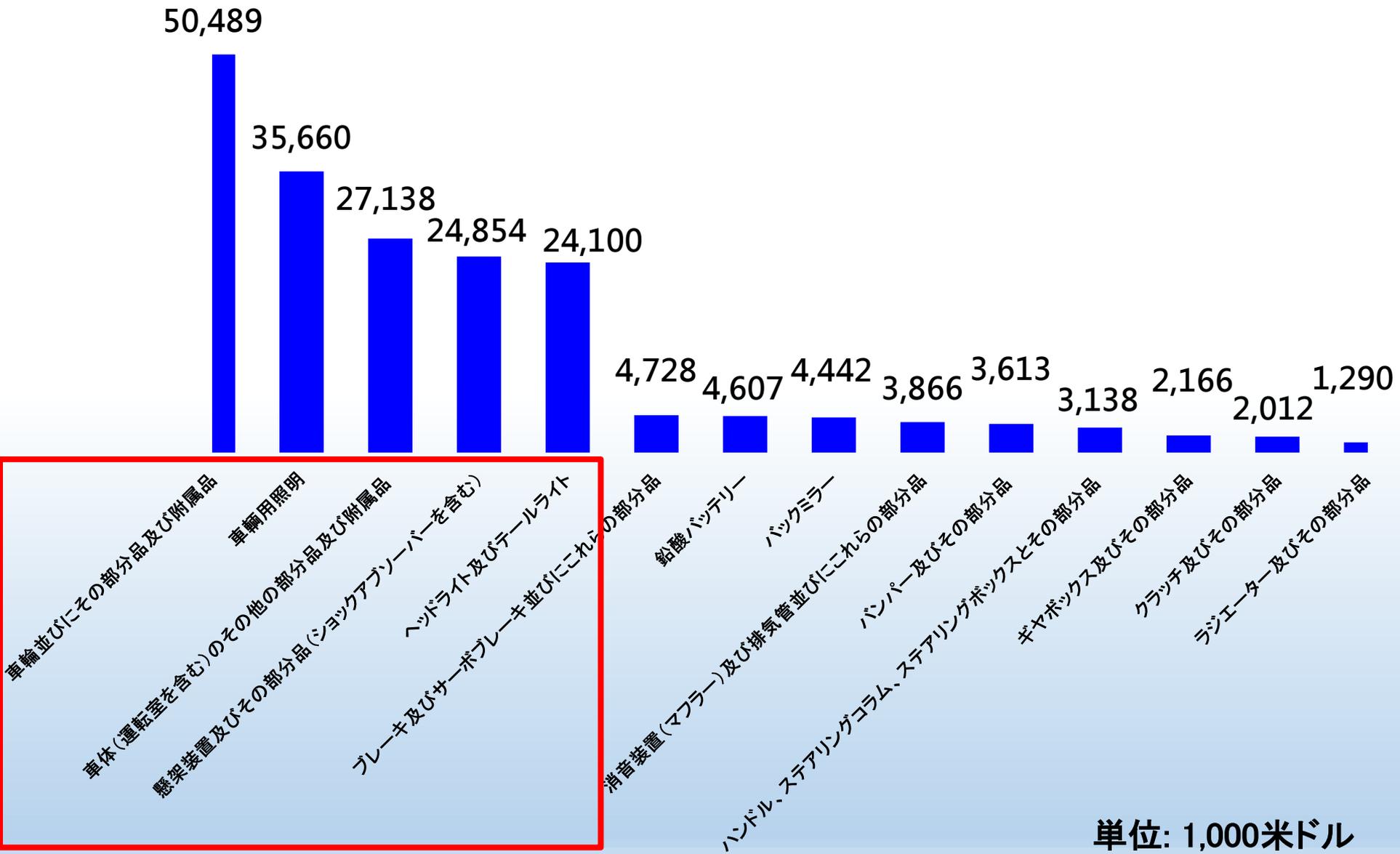
アフターサービス用途が大多数を占める

(例)照明、バンパー、バックミラー、車両及び部品、自動車用プラスチック部品、
板金など衝突事故に伴う修理部品など



出典：工業技術研究院 (ITRI)

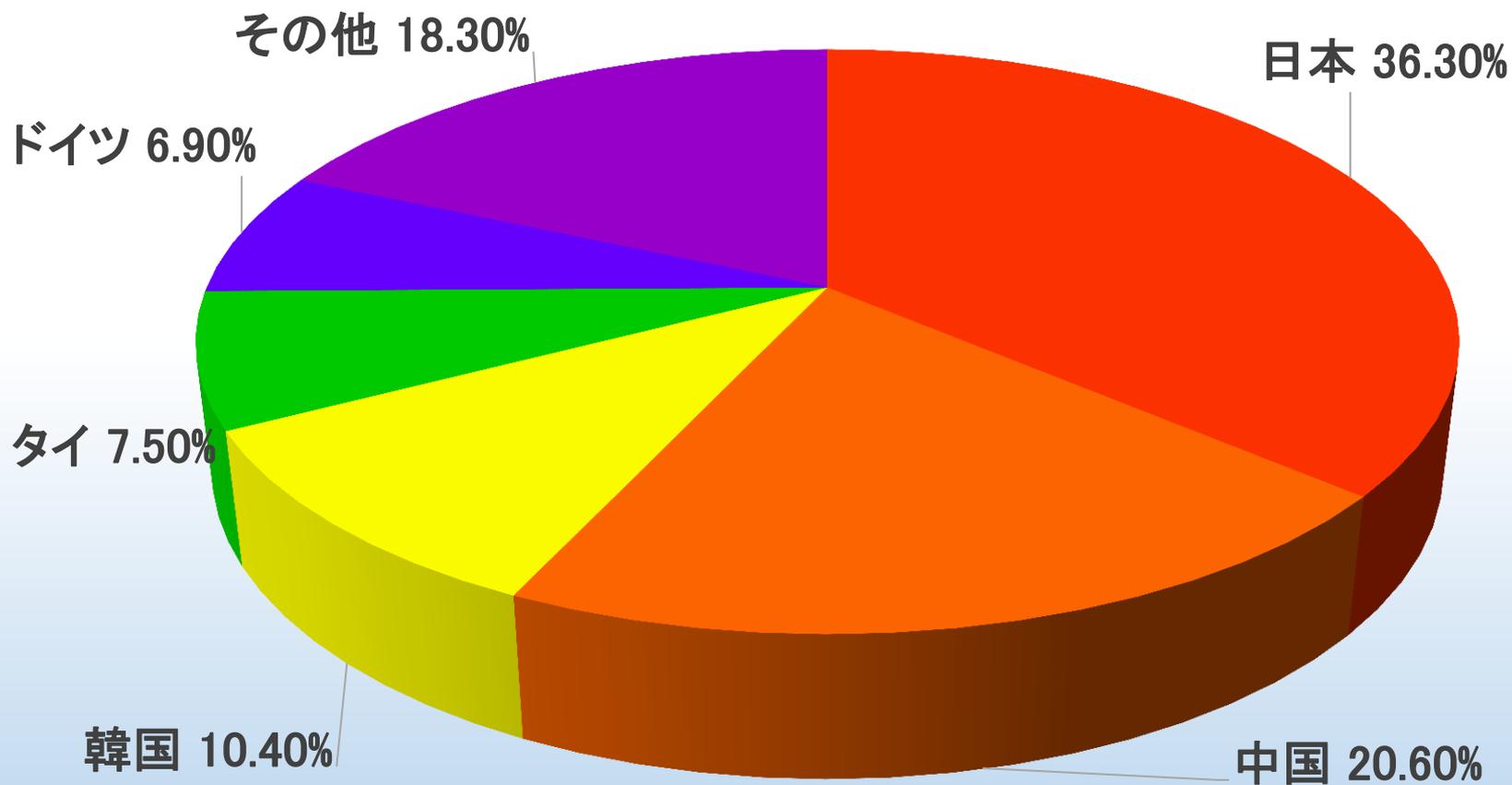
2015年台湾から日本へ輸出された主要な自動車部品 (車載電子機器、タイヤ、内装アクセサリは含まない)



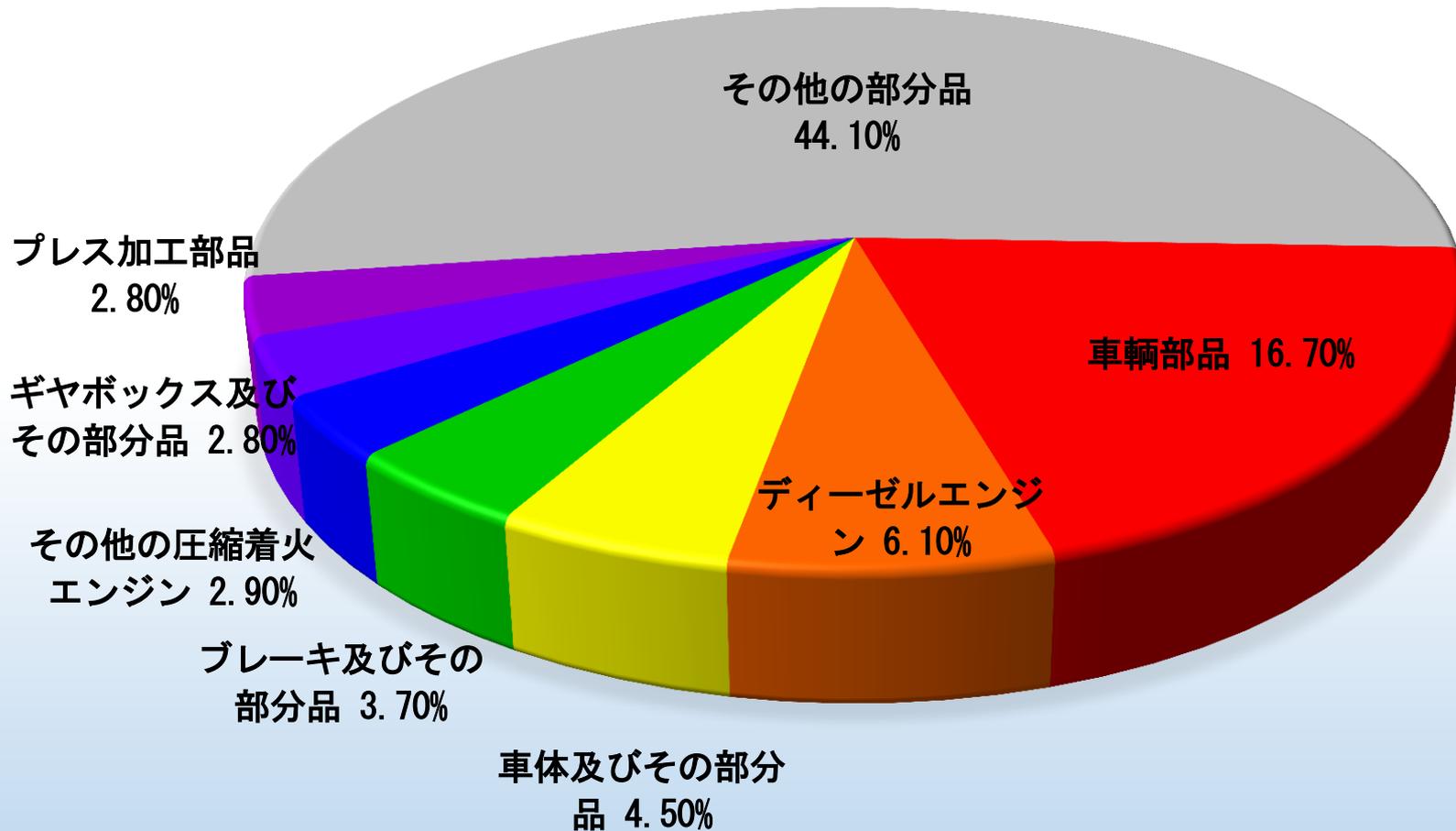
単位: 1,000米ドル

2015年台湾自動車部品の輸入先

輸入総額22億米ドル



2015年台湾自動車部品の輸入品目





東陽事業集團
TONG YANG GROUP

プラスチック製品や板金など、衝突事故に伴う修理部品を生産。商品の65%をアフターサービス市場（AM）に提供。残る35%はOEM受託生産。

生産拠点：台湾（2カ所）、中国大陸（合併企業を含めて16カ所）
タイ、米国、イタリア

大型プラスチック射出成形部品：バンパー540万個/年間、フロントグリル540万個/年間、板金（例：ボンネット190万個/年間）

車輦用照明を生産。近年は欧米の保険会社向けの衝突事故に伴う修理用品市場へ積極的に参入。欧米のAM市場向け輸出が85%、中国大陸の企業からのOEM受託生産が15%を占める。

生産拠点：台湾(3カ所)、中国大陸(4カ所)

ECE、SAE、E-Mark、CAPA、AQRP認証を得た車輦用照明モジュールを年間15,500セット以上生産。毎年600セットのペースで成長。

2015年、世界シェア第2位を獲得した軽量化鍛造アルミホイールのサプライヤー

鍛造ジュラルミンホイールをTESLA、JAGUAR、BMW、BENZ、AUDI、FERRARI、BENTLEY、TOYOTA、FORD等の大手自動車メーカーや、アフターサービス、改装車輦市場に提供

ほかにもゴルフクラブヘッド、シャーシー、航空機の座席シートなどを生産

カーナビ、カーAV79%、後部座席用娯楽システム7%、カーエレクトロニクスモジュール10%(2015年第3四半期)

新製品：車両動態管理（AVM）システム、タイヤ空気圧監視システム（TPMS）、IoVヘッドアップディスプレイ（SMART HUD、内蔵GPS、車間距離警告システム、衝突防止装置、バックモニターシステム等の機能。携帯電話端末のアプリと連動可能）

生産拠点：台湾、中国大陸、タイ。当初は台湾や中国大陸（上海大衆、一汽大衆、東風日産等）からのOEMがメインだったが、2年前にAM市場に参入。

エンジンマネジメントシステムと車両安全システム製品を生産。（例）無線タイヤ空気圧監視システム（TPMS）、車両動態管理（AVM）システム、暗視装置（NVD）、電圧制御装置、点火装置、センサーなどの電子部品

新たに研究・開発した「IoV(車のインターネット)」システムプラットフォームにより、端末(自動車側の受信機、センサー)、モバイル通信、サービスプラットフォームを組み合わせることに成功。例えば車載通信、モバイルAV機器、先進運転支援システム(ADAS)、走行管理などの装置に応用。

傘下の華徳動能科技公司在EVバスを生産

台湾のオートバイ及びその部品産業

特色

- ・ 完成品の生産技術はイタリアや日本から導入。国産率は99%に達する。オートバイ工場を取り巻くサテライト工場によって部品を供給しており、完全なサプライチェーンが形成されている
- ・ 自社ブランドの完成車もあり、かつ海外への輸出も行っている

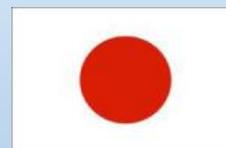
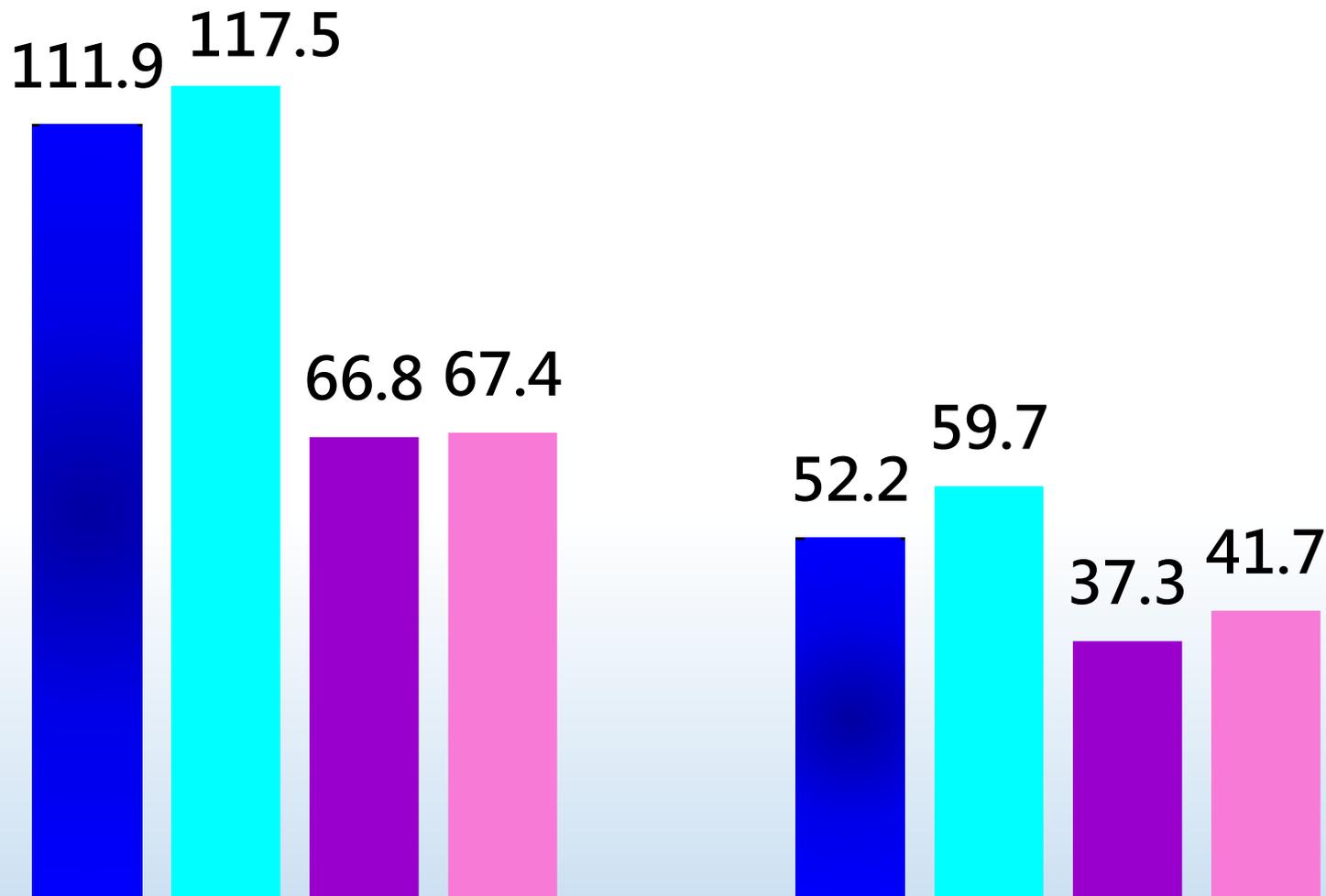
完成品

- ・ 完成車を生産するオートバイメーカーは13社（KYMCO、YAMAHA、SYM、SUZUKI、PGO、TGB、ADIVA 等）そのうちYAMAHAとSUZUKIは日本へも輸出している。
- ・ 海外工場：KYMCO（中国、ベトナム）、SYM（中国、ベトナム）

部品

- ・ 約400社の部品メーカー
- ・ 海外の著名な大型オートバイメーカーの部品サプライチェーン（例：
- ・ ショックアブソーバー、ダッシュボード、ガソリンタンクキャップ、
- ・ ヘッドライト、テールランプ、バックミラー、CNC部品など）
- ・ 小ロットで多種多様なカスタマイズ受注を得意とする
- ・ カスタムパーツの設計能力に優れ、特に日本企業からの評価が高い

オートバイの生産台数と台湾における国内販売台数

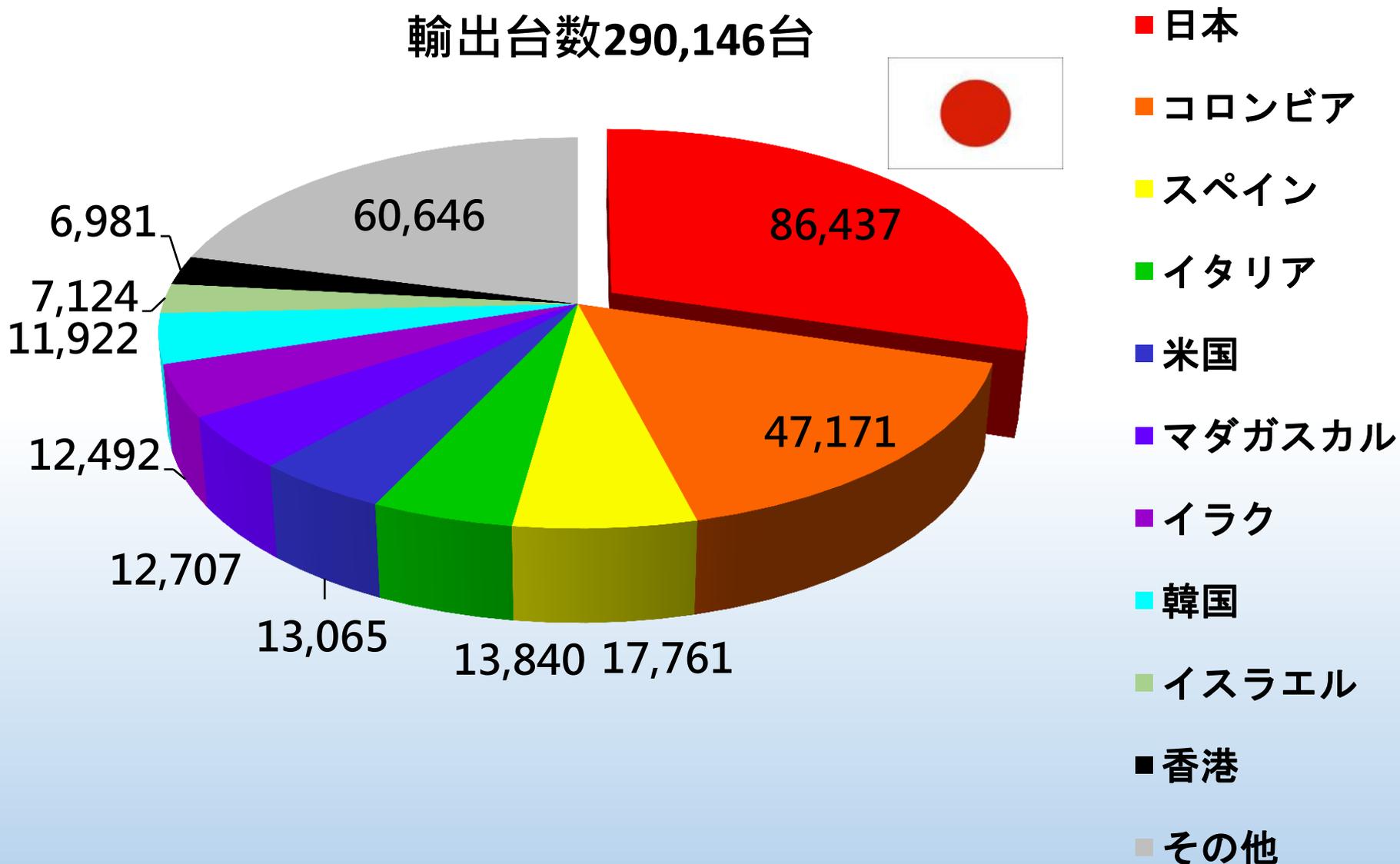
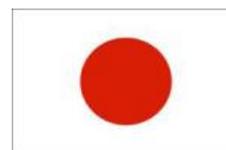


単位：万台

■ 2014年生産 ■ 2015年生産 ■ 2014年国内販売 ■ 2015年国内販売

2015年における台湾のオートバイ輸出台数と輸出先

輸出台数290,146台





台湾金蜂



- 自社でエンジンを生産。
400/500/ 1000ccのパワー
エンジンでATV/UTV市場で
の差別化を図る
- 欧州24カ国(ドイツとフラン
スではシェア1位)、アジア6
カ国、北米3ヶ国、南米3カ
国、北アフリカ2ヶ国へ輸出

亜帝発



adiva

- イタリアのブランド。ヨーロッパの工芸設計と台湾の製造技術の特色を結合
- 2008年以降、台湾で200/300/400 ccのルーフ付き三輪スクーターを生産



千葉興業

オートバイ、ATV、スクーターのカスタムパーツ大手。商品は下記に応用。

- エンジン動力
- ブレーキシステム
- サスペンションシステム
- 外観デザイン

NCY
NCY MOTOR SPORTS





統亜電子

自動車、オートバイ、ATV用の電子計器及び動力性能向上のためのカスタムパーツの研究・開発及び製造

- メーター
- エンジンチューニング
- 車体ドレスアップ
- 電子機器類のカスタム
- バイクアクセサリー
- ライト・ランプ